

瀬戸内タウンミーティング意見要旨

平成 26 年 8 月 30 日（土曜日）

午後 3～5 時

中央公民館（邑久）研修室

参加者：男性 44 人、女性：6 人 合計 50 人

【意見交換】

- ・ 今回の「まちづくり意識調査」のアンケート結果の説明は広報に何回かに分けて説明して周知してはどうか。
- ・ 農業について、用水工事の 1 割負担を求められているのだが、負担金額を抑えるための見直しをしてほしい。

（市長）

- ・ アンケート結果について今のところ広報紙には載せる予定はないが、周知の方法を考えていきたい。
- ・ 排水の負担金は受益者負担金をもらわないように見直したが、用水は受益者がいるため、まだ残っている。担当課には用水の部分の見直しをしてほしいという意見があったことを伝え検討させるが、難しいかもしれない。

- ・ 用水も農業だけでなく生活用水もあり農業とはいえない。

（市長）

- ・ 今後の課題として考える。

- ・ 邑久駅の駅前ロータリーのタクシーの通行方法について検討してほしい。タクシーは車の流れと反対方向に回って出ている。分かっている人はよいが、知らない人にとっては危険な状態。JRとタクシー会社と市で協議して安心できるような状態にしてほしい。長野県飯田市はロータリー交差点があるが、そういった事例も参考に導入してはどうか。JRの貸し付けの駐車場を減らさずに、JRの収入が減らないような方法を考えながら、検討してほしい。

(市長)

検討していきたい。JRとの協議をどう進めていくかが課題。

駅が汚いというのは以前より意見をもらっていたが、使えるお金があればやっていきたい。トイレだけはお金がなくても、早いうちにしたいと思っている。ロータリー交差点は車の量が少ないとうまくいくので、瀬戸内市位だとスムーズに行くかもしれないので検討課題にする。

- ・市の人口推計は減少傾向にある。市として対策はしているのか。例えば、岡山県は東京などで移住を斡旋しているが、市は何かしているか。インターネット等で全国に瀬戸内市はこういう良いところがあるなど発信してはどうか。
- ・今年度はじめにガンの総合検診、しばらくしてから特定健診の通知が別に来た。部署が違うのかもしれないが、一緒に発送してはどうか。郵送代もバカにならないので、無駄なことをしなくてよいのではないか。その内容を電話したが、分かりましたと言われただけで、ガンの総合検診と特定健診の受付の通知が別に来た。行政の効率化として考えてもらえればどうか。
- ・ごみの減量化の関係で、市長はプラスチックの回収を始めて減量化していると言っていたが、プラスチックの回収が月2回なので、家に置く場所がない。せめて週1回に増やしてもらえればと思う。

(市長)

・今、生まれる人の倍の人が亡くなっている状態で、転入・転出は同じくらいだが結果的に人口が減少している。増やしていく努力をしていかなければならないと危機感を持っている。外に向かったのPRはしている。関西の定住フェアなどがあれば、行っている。岡山・倉敷に次いで、瀬戸内市は人気が高い。また、「瀬戸内と暮らす」といったパンフレットを配り、空き家の情報があれば紹介するなどしている。

空き家の希望者はたくさんいるが、提供できる空き家がない状態である。空き家を提供していただけるような取り組みをしたい。

今、家を建てようにも田をつぶして建てることができなくなっている。昨年からは、国営吉井川土地改良事業のⅡ期工事が始まり、国費を投入し農業用の施設やそういったものを改修する事業が始まった。事業が完了するまで8年くらいかかり完了してからの8年間は田をつぶせない。田をつぶせないということは良い宅地ができないということ。そのような点に手を入れていかないと優良な宅地を提供してもらえないのは難しい。

また、都市計画の問題で、良好な生活環境、町並みを整備するなど土地利用の観点でいうと具体的な計画が何もないので、都市計画のような取り組みができればよいが、今は難しい。

他市から奪ってくる人口政策ではなく、産む人を増やすことが必要なのだが、効果的なものができていない。

・ 前日も市長は高齢者ではなく若い人に来てもらいたいと言っていたが、勤務先である企業があれば若い世代を引っ張ってくるができる。

(市長)

・ 出生率を増やす取り組みを市としてできることは何か考えていきたい。結婚してもらわなければいけないので、いろんなネットワークで情報提供などやってはいるが効果があがっていない。利便性でいうとのぞみが止まる駅まで赤穂線で25分で行ける。このように恵まれたところはそんなになんかと思うので、そういった魅力の部分伝えていきたい。程よい田舎で楽しく暮らせるような価値観を感じてもらえるような取り組みをしていきたい。

・ 健診について、どのように効率的にできるかというのは課題だが、対象者が異なるとどの人か重なっているか抜き出して、その人たちに両方のものを入れて発送するというのは、重さが違うので別に発送する必要がある、それなりの手間がかかるのでそれぞれが送付するようなやり方になっている。なるべく無駄を省くように担当課に言うておく。

・ プラスチックの回収は、たくさん意見をもらっており、なんとか1週間に1回に増やすことができないかとは考えているが、増やすと収集委託費用が増えるので、来年度予算の中で収集できるか検討していきたい。

・ 災害の問題で、広島市安佐南区などで土砂災害が発生している。造成地は瀬戸内市にもあるのではないか。地震と津波についてはハザードマップが配布されているが、水害や土砂災害等新たに発生しそうな条件はどうか。瀬戸内市でも発生するという恐れはある。

台風11号のとき避難勧告が全世帯を対象にでていたが、実際避難した人は何人いたのか。避難所まで避難しに行く方が危ないのではないか。家にいた方が安全なのではないか。抜本的な避難の見直しをしないといけないのではないか。避難所に集まらなかった理由、原因はどのように分析しているのか。

・ プラスチック回収問題で、手段であって目的ではない。そもそもの目的はごみの減量化である。どのようにごみの減量化を図っていくかというのが大切。

そもそも 30%というのが目標として妥当であったのか。目標は達成しなければならない。目的と手段を混同しないように、コスト意識をもって価格計算をして目標を達成してほしい。

(市長)

・災害時の避難の見直しで、台風 11 号の際は土砂災害警戒情報がでたので全域に避難勧告を発令した。避難したのは 40 人なので、あまり避難されていない。携帯の緊急速報メールで「避難勧告を発令します。急斜面の付近や川沿いにいる方は急斜面や河川から離れた安全な建物などに避難してください。」といった避難勧告を流した。大雨で、公民館まで避難する途中に災害にあうという危険もあるので、まずは大雨、洪水だと二階に逃げるだとか、安全な場所に移るだとかを含めての避難勧告。そういったことが十分に伝わっていないところがあるかもしれないので、避難所に避難することだけが避難勧告ではないということ再度徹底していく必要があると思う。これからしっかり伝えていきたい。

・ **防災無線が聞こえない。**

(市長)

・携帯電話の緊急速報メールで流す等いろんな手段を使って伝えているので、今後もそういった方法で伝えていきたい。

・ごみ減量については、単にプラスチックが減ればよいというわけではなく、プラスチックの分別をするようになると、他の古紙や雑紙などを分別したり、生ごみを裏の畑に埋めたり等の波及効果を期待してその他プラスチックの回収を始めた。

30%の目標だが、長船町は市民一人当たりのごみの排出量は目標に近い数値に近づいている。牛窓町や邑久町はまだそこまでいっていないが、町によってごみの収集形態が違うので、一概には言えないが、目標に近いところにいるところもある。どうすればごみを減らしていけるか、検討する必要があるし、必要であれば見直しも考える。

・ **台風 11 号のとき、尾張から東の千町橋西側あたりが冠水し、通行止めになった。そんなに強い雨ではなかったのに通行止めになった。消防署は向こうにある。なにかあって緊急出動するとしても、通れないので、ブルーラインにあがるということも考えられるが、大型車が通れる迂回路もあまりないので、冠水しても通れるようにする必要がある。県になるのかもしれないが、市も協力し**

てほしい。

・安全・安心や住みやすさと言っても、こういった目的でアンケートをとり何をねらいとして聞くかというのをはっきりさせないと結果も変わってくると思う。そのためにはどういう項目を設定すればよいかということを検討してほしい。

(市長)

・千町については話が上がっては消え、地元説明会などを行ったりしたが、なかなか話がまとまらず、前に進んでいない。県道になるので県、地元の皆さんとの協議がうまくいかないと前に進まないが、冠水して、緊急車両が通れないというのは皆さんが一番不安なところだと思うのでどんな形がとれるかということも協議しながら進めていきたい。

・アンケートについてはご指摘もふまえて、意味のあるものやっけていくことを心掛けていきたい。

・人口を増やすことに取り組んでほしい。地方交付税は1人当たり10万円ということなので、1,000人人口が増えれば1億円増える。4,000人増えれば4億円増える。5年前のタウンミーティングで市長に話したが、その時、職員と知恵を出し合いながら、取り組んでいきたいと答えられたが、取り組みが十分でなかったように思う。もう一度お願いしたい。

(市長)

日本全体の問題でもあるので、十分考えていきたい。いろんなアイデアを聞かせてもらえればと思う。